



Sun Java™ System Directory Server Enterprise Edition



優れた可用性と拡張性を備え、
容易な管理を実現するセキュアなディレクトリ・サーバ

Highlights

業界最先端のディレクトリ機能を提供するSun Java™ System Directory Server Enterprise Editionは、可用性／拡張性／管理性に優れ、セキュアなサービスを実現します。

- セキュリティの向上
- コストの削減
- 投資保護の実現
- ITの複雑性を低減
- 管理性の向上

最新バージョンのSun Java System Directory Server Enterprise Editionには、一貫性を持って必要なアイデンティティ情報に確実にアクセスするための新しい機能が盛り込まれています。

- 常にアクセスが可能な、高可用ディレクトリ
- サービスを実現するマルチマスター・レプリケーション
- 64bit商用エンタープライズ・クラスのディレクトリ・サーバにより、大容量メモリへのアクセスを可能にし、優れたパフォーマンスを実現
- 最大18CPUにまでおよぶリニアなスケールビリティが、大規模システムでの運用と優れた費用対効果を実現

今日のビジネスでは、顧客／従業員／ビジネス・パートナーに対して、価値の高い情報をセキュアかつ高い可用性と共に、確実に届けることが必要とされています。情報を伝えるだけで良いという時代は終わりを告げ、確実性が求められる時代が到来しました。政府が定めた法規制の遵守／リスクの最小化／業界の枠組みを超えた連携による収益の向上／社外のリソースへサービス拡張など、どのような企業活動を行っていても、サービスを提供するために、イントラネットやインターネットを利用している企業は、無数に増え続けるユーザのアイデンティティ情報の管理という課題に直面しています。

企業はアイデンティティ管理基盤をサポートするために、数多くのディレクトリを構築していますが、その中で情報に対する価値とその重要性を持った統合されたディレクトリが必要になります。それがエンタープライズ・ディレクトリです。エンタープライズ・ディレクトリの基盤となっているLDAPディレクトリは、アプリケーション／顧客やパートナーへ提供するポータル／Eコマース・サイトの実装を容易にします。優れたセキュリティ／パフォーマンス／可用性／拡張性と管理性を備えたエンタープライズ・ディレクトリだけが、効果的にこれら変化が要求される環境のアイデンティティ管理を行えます。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、業界をリードするディレクトリ・サーバであり、企業やサービス・プロバイダーの中で高まる要求に対応可能な、極めて価値の高い、実績を持ったエンタープライズ・ディレクトリと、それらの実現に必要な付加価値サービスを統合した製品です。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionをバックボーンとして利用した企業アイデンティティ管理基盤は、大規模なエクストラネット・アプリケーションにだけでなく、今日のミッションクリティカルな企業アプリケーションにも一貫性／確実性／信頼性を備えたアイデンティティ情報へのアクセスを提供し、業務とコストの効率性を著しく向上します。このソリューションは、認証プロファイル／アクセス権限／アプリケーションとネットワーク・リソースの情報を格納／管理する一元化されたリポジトリにより、アイデンティティ管理のために必要となる堅牢な基盤を提供します。また複数のプラットフォーム環境へシームレスに統合でき、Microsoft Windows Active Directoryとの間で、セキュアでオンデマンドなパスワードの同期が可能です。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、ユーザ情報の統合と一元化されたセキュリティ処理でコストの削減と業務効率の向上を実現します。

利点:更に優れたセキュリティ／可用性／拡張性／管理性を備えたエンタープライズ・ディレクトリ

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、業務効率／可用性／管理性を向上させつつリスクとコストを削減する様々な機能を搭載した、堅牢なエンタープライズ・ディレクトリです。

優れたセキュリティ

ディレクトリの構築には、それを利用する無数の内部／外部ユーザの存在が含まれており、ユーザ数の増加と共に無数のセキュリティに関する課題が浮上します。不正なアクセスや情報漏洩は、企業にとってあってはならない脅威です。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionはファイアウォールのためのプロキシ・サービスを提供し、企業のディレクトリ・サーバへの悪意を持ったアクセスを防ぎます。企業ネットワークの最も外側でサービスを提供するプロキシは、DoS (Denial of Service) 攻撃や不正なアクセスを防ぎます。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、IPアドレスに対するALLOW/DENY規則、グループ・メンバーシップやその他の条件に応じたアクセス制限により、更に優れたセキュリティを実現します。

「Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは
極めて高い拡張性を持った実績のある製品だ。
他の製品を利用しようなどと考えたことすら無かった。」

RouteOne LLC チーフ・アーキテクト Dr. T.N. Subramaniam
RouteOne LLCは、DaimlerChrysler Services /
Ford Motor Credit Company / General Motors Acceptance Corporation /
Toyota Financial Servicesによるジョイント・ベンチャーです。

コストの低減

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionが提供する垂直拡張性が、データセンター内に必要となる総システム数を削減し、運用コストの低減を実現します。また、アイデンティティ情報を一元化し複数のアプリケーションから一貫性を保って利用可能にすることで、各アプリケーションが各々異なった場所で独自にアイデンティティ情報を保持／管理する必要を無くしコストの削減を可能にします。Sun Java System Directory Server Enterprise EditionとMicrosoft Windows環境とのオンデマンドなパスワードの同期化により、パスワードに関連したヘルプ・ディスク業務を減らし、コストの削減に貢献します。複数のプラットフォーム環境をサポートすることで、既存のインフラストラクチャやアプリケーションとの相互運用性を提供し、実装に必要なコストを最小限に抑えます。

投資保護

ディレクトリに含まれるアイデンティティ情報の数や、ディレクトリ・サービスを利用するアプリケーションの数が、予定されていた数よりも上回ることは少なくありません。エンタープライズ・ディレクトリにとって、高速なパフォーマンスと拡張性を維持しつつ、押し掛かる負荷に対処するのは、最も重要なことです。Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、部門単位での利用から企業、そして企業の外部に至るまで、ディレクトリ・サービスのニーズの成長に対応できる、優れた拡張性を提供します。マルチマスター・レプリケーション／負荷分散／自動フェイルオーバーにより、エンタープライズ・クラスの可用性を絶え間なく提供し続けます。また、Sun Java System Directory Server Enterprise Editionの優れた拡張性は、データセンター統合により運用効率を向上し、TCO (総所有コスト: Total Cost of Ownership) の削減に貢献します。

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、64bit商用エンタープライズ・クラスのディレクトリ・サーバで、大容量のデータセットに対する優れたパフォーマンスを実現し、最大18CPUまでのリニアなスケーラビリティを提供します。投資保護を実現し、高いアドバンテージを持つハイエンドなマルチプロセッサ・システムの採用は、企業に最も求められていることです。

ITの複雑性を低減

全てのユーザ／グループ／組織に対する、認証プロファイル／アクセス権限／アプリケーションとネットワーク・リソースの情報を格納し管理を行う一元化されたリポジトリが、個別に蓄えられた情報を管理することで生まれる複雑性を一掃します。

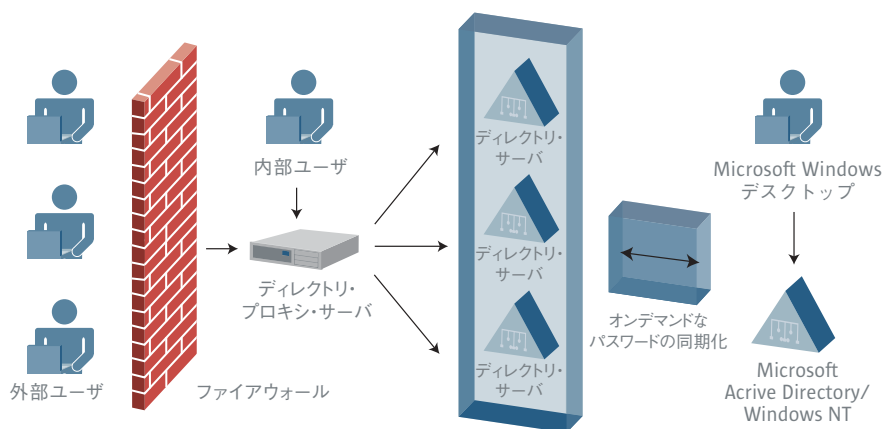
Sun Java System Directory Server Enterprise Editionで利用されている先進のディレクトリ・サービス仕様が、Webサービスにも対応可能な将来に渡る相互運用性を実現します。

管理性の向上

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionでは、追加のデータベースとレプリケーション・アグリーメント作成に対し、これらのタスクが初心者／経験者を問わず容易に行えるようウィザードが用意されています。そしてユーザ／グループ／組織単位の管理を行うために、カスタマイズ可能で直感的に利用できるWebベースの管理インタフェースを提供しています。

更に優れた操作性とシンプル性を提供するため、Sun Java System Directory Server Enterprise Editionでは、サービス／サーバ／データ／スキーマの変更を抽象的／透過的に行うことが可能になっています。また、メンテナンス時にディレクトリ・サービスの可用性を損なわないよう、個別のバックエンドのディレクトリ・サーバを用意することが可能です。従来オフラインで直接行われていた、バックアップ／一括でのインポート／インデックスの再作成などの管理業務が、オンラインのまま行えるようになり、最大限の可用性を実現します。Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは最新で一貫性を持ったアイデンティティ情報を常に提供し、一元管理を可能にします。導入後すぐに利用できるDirectory Server Resource Kitのホワイトページ(個人名簿)アプリケーションが、企業内全体のアイデンティティ情報の速やかな検索／照会／閲覧を実現し、システムの管理と実装は更に容易になります。

Sun Java System Directory Server Enterprise Edition



Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、業界最先端のディレクトリ・サーバと付加価値サービスを統合し、セキュリティで高い可用と拡張性を備え、容易な管理性を提供するディレクトリ・サービスです。負荷分散／フェイルオーバーとフェイルバック／クライアントの相互運用性／DoS攻撃の防御により、ディレクトリ・プロキシが優れた可用性とセキュリティを提供します。Sun Java System Directory Server Enterprise EditionとMicrosoft Windows環境とのパスワードの同期化が、主要なディレクトリ全体で常に確かな情報を提供し、コストを削減するとともに複雑性を低減します。

主な機能一覧

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionは、セキュリティの向上／最大限の可用性／優れた管理性／業務の効率化、そしてMicrosoft Active Directoryとのシームレスな統合を実現する、独自のディレクトリ機能を提供します。

機能	特長	効果
アイデンティティ情報／アプリケーション情報／ネットワークのリソース情報を一元化したリポジトリ	<ul style="list-style-type: none"> 優れた拡張性／セキュリティ性／柔軟性を備え、エンタープライズレベルから大規模な実装まで対応可能な強力なアイデンティティ管理 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティの向上／ITの複雑性を低減／業務の効率化／コストの削減
ディレクトリ・プロキシ・サービス	<ul style="list-style-type: none"> DoS攻撃からの防御／特定の基準に基づいたアクセス制御／不正なアクセスの排除 フェイルオーバー機能を提供することで、サーバがオフラインになった場合でもサービスを継続して提供可能 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティを向上させ、確かな可用性を提供 定期的な保守が行える柔軟性を提供しつつ最大限の可用性を実現し、業務効率を向上させ、コストを削減
セキュアなパスワード管理	<ul style="list-style-type: none"> Sun Java System Directory Server Enterprise EditionとMicrosoft Active Directoryとの間で双方向にオンデマンドなパスワード同期が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 異機種混在環境における相互運用性を実現し、ユーザの利便性を向上
無制限のマルチマスター・レプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> 高い柔軟性と拡張性をレプリケーション環境に提供 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの利用環境に柔軟に適用できる分散環境における確かな可用性を実現
負荷分散	<ul style="list-style-type: none"> ディレクトリ環境を負荷に起因した障害から保護し、読み出しと検索／照会／閲覧に対する水平拡張性を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 最新で一貫性を保った情報の確かな可用性を提供し、業務効率を向上
フェイルオーバー／フェイルバック	<ul style="list-style-type: none"> サーバがオフラインになった場合でも、サービスの可用性を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 保守や移行、そしてアップグレード時の信頼性を向上し、柔軟性を提供
Webベースの管理インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ／グループ／組織の管理用に、直感的に利用可能な管理インタフェースを提供 どんなWebブラウザからでもインタフェースを利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ディレクトリのユーザビリティを向上させ、主要な管理機能をすぐに利用可能
Directory Server Resource Kit	<ul style="list-style-type: none"> すぐに利用できるホワイト・ページ・アプリケーション／ツール／SDKにより、導入環境を拡張可能 	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率とシステム管理における生産性を向上
優れた保守性	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス時にはバックエンド・サーバが処理を行い、ディレクトリ・サービスを継続 	<ul style="list-style-type: none"> 運用効率を向上 機密性のある属性値を保護することで、セキュリティを向上
部分レプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> データベースのエントリがレプリケーションされた場合に、特定の属性値だけを除外可能 	<ul style="list-style-type: none"> 法規制へのコンプライアンスを支援
複数ディレクトリとスキーマ変換のためのシングル・アクセス・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> サービス・クライアントとして連動する、ディレクトリ・サーバで異なるスキーマを利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 管理を簡素化し、複雑性を低減
バーチャル・ディレクトリ	<ul style="list-style-type: none"> RDB等、複数データソースからのアイデンティティ・データを収集し、LDAP対応アプリケーションに対しバーチャル・ビューを提供 	<ul style="list-style-type: none"> 複数のデータソースからなるID情報を利用するアプリケーションの迅速な運用開始と複雑さの低減 メタディレクトリ的アプローチに発生しがちな、データの所有権問題と増幅する複雑さの問題を解消 企業の統合／買収時にもシームレスなディレクトリ統合を実現可能

Sun Java™ System Directory Server Enterprise Edition

Sunが提供する包括的なアイデンティティ管理

アイデンティティ管理は、今日のITインフラストラクチャを成功に導くための重要な要素となっています。Sunが提供するSun Identity Managerは、ユニークなアプローチで、市場が求めているアイデンティティ管理を実現します。Sunは、企業やサービス・プロバイダーのニーズの成長に応えることが可能な、包括的なアイデンティティ管理製品群を提供しています。Sun Identity Managerは、企業戦略の要となるユーザ・プロビジョニングとアイデンティティ情報の同期化サービスを提供する、Sunのアイデンティティ管理ソリューションです。

サポートしている仕様

業界規格

- Relevant LDAP v2 and v3 RFCs, including RFC 2079, 2246, 2247, 2307, 2713, 2788, 2798, 2831, 2849, 2891, 3045, 3062, 3296, 3829, 3866, 4370, 4422, 4505, 4511, 4512, 4513, 4514, 4515, 4516, 4517, 4519, 4522, 4524, and 4532
- FIPS 180-1
- DSML v2
- X.509 Digital Certificates

OSとプラットフォーム*1

- Solaris 10 OS : SPARC/x86/x64
- Solaris 9 OS : SPARC/x86
- Red Hat Enterprise Linux AS/ES 3,4
- Microsoft Windows 2000 Server/Advanced Server

- Microsoft Windows 2003 Server Standard Edition/Enterprise Edition
- Hewlett Packard HP-UX 11iV2 (11.23) : PA-RISC

サポートするデータベース

- MySQL 5.0
- Oracle 9i and 10g
- IBM DB2 9

Identity Synchronization for Windows

- Sun Solaris 9 and 10 Operating Systems
- Red Hat Enterprise Linux AS 3
- Microsoft Windows 2000 Server and Advanced Server SP4
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition and Enterprise Edition

システム要件 (25万エントリを想定)

ディレクトリ・サーバ

- 最少ディスク容量 : 4GB
- 最少メモリ容量 : 2GB

ディレクトリ・プロキシ・サーバ

- 最少ディスク容量 : 2GB
- 最少メモリ容量 : 2GB

Identity Synchronization for Windows

- 最少ディスク容量 : 400MB
- 最少メモリ容量 : 512MB

*1 記載されているプラットフォームは、LDAPサーバにのみ対応しています。

今、すべてをシンプルに変える

Sunは、オープンで互換性のあるお求めやすいソフトウェア・システムを各種取り揃え、IT基盤の効率的な稼働を支援しています。各ソフトウェア製品はUNIX®とJavaをベースにシステムとして統合され、高いセキュリティと可用性、下位互換性を備えています。Sunのソフトウェア・ポートフォリオには、Solaris (SPARC版およびx86版)とLinux、ダイナミックなユーティリティ・コンピューティングに最適なN1™プラットフォーム、そしてSun Java Systemが用意されています。

Sun Java Systemは、企業が必要とするソフトウェアの購入/開発/管理をこれまでになくシンプルにする画期的なアプローチで、豊富な実績と広範なソフトウェア・ポートフォリオを持ち、Sun以外には真似のできないユニークな戦略です。Sun Java Systemを利用すれば、ネットワーク・サービスや基幹ビジネス・アプリケーションを迅速に立ち上げ、コストも従来以上に軽減することが可能です。余裕をもってイノベーションや競争、売上増強に専念できます。

詳細

Sun Java System Directory Server Enterprise Editionの詳細については、jp.sun.com/software/をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート docs.sun.com/ をご覧ください。



サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話 (03) 5717-5000 (代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話 (03) 4232-2400 (代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話 (03) 5843-1100 (代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話 (052) 264-4611 (代)
大阪支社	〒541-0052 大阪府中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話 (06) 6265-5700 (代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル9F 901-A	電話 (092) 834-0101 (代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話 (0298) 51-2210 (代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話 (0565) 25-5701 (代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9595 Web sun.com

©2008 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. ●Sun, Sun Microsystems, Sunのロゴマーク, Java, Java Coffee Cupのロゴマーク, Solaris, N1は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。●UNIXは、X/Open Company Ltd.が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。●本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

Sunはチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

本誌は緑林・森林認証取得木材および古紙/REP配合による再生紙と「大豆インキ」を使用しています。



ADJV5015-01 0908/3K